

第6次都留市長期総合計画前期基本計画行政評価シート

事業名	一般介護予防事業費			款項目	04-02-01	評価責任者	天野 奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	相川 京子
会計	介護特会	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等	介護保険法		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN)

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	高齢者福祉の充実と健康寿命の延伸
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 65歳以上の高齢者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 「いーばしょ」・健康ポイント制度・介護予防教室等を通じて、自主的に運動や介護予防に取り組む高齢者を増加させる。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 健康づくり・介護予防活動を通じて健康寿命を延伸する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算現額[A]		19,693,000円	17,118,000円		
	決算額[B]		10,775,958円	10,787,380円		
	執行率[B]/[A]		54.7%	63.0%		
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)		・虚弱な高齢者対象の運動教室業務委託1,166,400円 ・居場所づくり事業補助金2,510,895円 ・健康ポイント事業ポイント付与負担金1,308,495円	・虚弱な高齢者対象の運動教室業務委託622,080円 ・居場所づくり事業補助金3,712,548円 ・健康ポイント事業ポイント付与負担金1,601,697円		
	財源内訳	国庫支出金		2,614,514円	2,633,545円	
		県支出金		1,307,257円	1,316,773円	
		地方債				
		その他特定財源		5,546,930円	4,414,201円	
		一般財源		1,307,257円	2,422,861円	
	財源合計[C](=[B])		10,775,958円	10,787,380円		
人件費	一般職員		50人日 1,295,753円	50人日 1,299,494円		
	対象外事業分		円	円		
	嘱託職員		0人日 円	0人日 円		
	対象外事業分		円	円		
	臨時職員		円	円		
	別担当職員		円	円		
人件費合計[D]		1,295,753円	1,299,494円			
総事業費[B]+[D]		12,071,711円	12,086,874円			

■目標

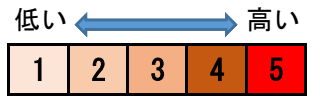
指標名	内容説明	単位	単位	H27	H28	H29	H30	R1
「いーばしょ」の開設数	「いーばしょ」として認定されている数	箇所	目標値		8.7	17.3	26.0	
			実績値	0.0	0.0	16.0	22.0	

3. 事業評価 (CHECK)

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
必要性 (市民ニーズに照らして市関与の必要)		5	5	
有効性 (事業実施に伴い成果が出るか)		5	5	
効率性 (コストを低減し無駄なく実施してるか)		5	5	
公平性 (一部受益者のみでなく公益的か)		5	5	
達成度 (目標が実現できているか)	1	5	5	
平均得点	1.0	5.0	5.0	

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

平成28年度	
平成29年度	平成29年度より事業開始。「いーばしょ」において自主的に健康づくりに取り組む高齢者が増加しているが、全市展開には至っておらず、今後も積極的に居場所事業を推進していく必要がある。
平成30年度	教室型の介護予防教室では、高齢者が継続的に介護予防に資する活動を行うことは困難である。介護予防を継続して行える体制を整備するために、身近な場所として「いーばしょ」の開設を増やしていく。

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	平成30年度予算に向けて			令和元年度に向けて			令和2年度に向けて			令和3年度に向けて		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○				
	維持											
	縮小											
具体的な事業費名												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

平成30年度予算に向けて	より多くの高齢者が自主的に健康づくりに取り組むことができるよう、居場所事業・健康ポイント事業への参加者の増加を図る。
令和元年度予算に向けて	市内全地域での「いーばしょ」の設置を推進し、積極的に健康づくりに取り組む高齢者が増加するように、各「いーばしょ」にあった支援を行う。また、「いーばしょ」ネットワークを図るために、リーダー連絡会を開催する。
令和2年度予算に向けて	より多くの高齢者が自主的に参加することができるよう、「いーばしょ」の開設をさらに推進するとともに、既存の「いーばしょ」を継続して行えるようリーダー育成等の支援を行う。

■事業評価・提案会を踏まえた事業の改善策及び今後の方向性

「いーばしょ」の新規開設や男性参加者を増やすために、各種媒体をフル活用して、周知活動を強化し、意識の向上を図っていく。各関係機関と連携して、リーダー発掘や育成に努めていくとともに、各地域で行われているサロン活動や自主活動などの実態把握に努め、「いーばしょ」の新設に繋げていく。また、男性の趣味や興味があるものを調査、分析して「いーばしょ」の活動内容に反映させる。以上のことを踏まえ、これからも、健康づくりや介護予防を通じて、自主的に運動や介護予防に取り組む高齢者を増加させ、健康寿命の延伸を積極的に推進していく。

【具体的内容】

- 市民への周知活動について
 - ポスターやビラを作成し、市立病院などの関係機関に掲示や配布を行う。
 - 各地域での回覧板を利用して周知する。
 - ふれあい講座などで情報提供を行う。
 - 市ホームページのリニューアルを早急に行い、随時、新着情報を更新していく。
 - 各「いーばしょ」の情報が掲載された冊子を作成する。
- 新規開設への取組について
 - 各関係団体（はつらつ鶴寿大学や公民館学級など）と連携し、リーダーを発掘していく。
 - リーダー養成に向けた手引きを作成する。
 - サロン活動や自主活動などの実態把握を行い、「いーばしょ」の主旨に沿った活動内容であれば認定し、認定証を交付する。
- 男性参加者への働きかけについて
 - 高齢者の男性に、趣味や興味があるものなどの聞き取り調査を行い、分析して、男性が参加しやすい活動内容に反映させる。
 - 自主活動などの実態把握を行い、男性専用の「いーばしょ」の新設や認定について、検討する。